

2012年 3月10日(土) 震災対策特別号
(平成24年)

広報いちかわは新聞折り込みでお届けするほか、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。

放射線量低減対策を4面に掲載

東日本大震災による液状化現象で吹き出した泥に埋まる車両(千鳥町)



東日本大震災の教訓生かし 減災への備え 日頃から

東日本大震災から1年。その深いつめ跡は、今もなお消えることはありません。市は、震災直後に「災害対策本部」を設置し、市民の安全・安心のため、24時間態勢で臨みました。この経験により、情報の伝達や避難所での対応など、改善や見直しを要する活動があることが見えてきました。自然災害の発生を避けることは困難です。しかし、日頃の備えにより、被害を最小限に抑えることはできます。本号では、東日本大震災の教訓を生かし、首都直下地震等に備えた減災対策の充実を図るため、市民と地域と行政が担う役割と内容についてお伝えします。

万への備え再認識

昨年3月11日、マグニチュード9.0の地震が東北地方を中心に発生しました。この地震により、市川市でも震度5弱を観測し、建築物や道路などに被害がありました。

地震発生直後に鉄道が運休し、一部の道路も通行できなくなり交通が麻痺したため、たくさんの方が勤務先や学校から帰宅できない状態となりました。携帯電話も不通となり、広い地域で停電や断水も発生しました。

万への備えは、日常から怠ることなく続けなければなりません。再認識されたことと思います。

自分と家族を守る「自助」

緊急の支援態勢が整うまで

東日本大震災による市内の主な被害状況

人的被害	軽傷者4人
建物被害	公共建物137カ所、民間建物(り災証明分)=全壊9棟、大規模半壊23棟、半壊14棟、一部損壊491棟(平成24年1月27日現在)
道路被害	104カ所(液状化など)
水道被害	減断水約83,000戸

広域的視点に立ち 防災体制の更なる充実を図る

市川市長 大久保博

東日本大震災の発生から明日で1年が経過します。

改めて、犠牲者の皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様へお見舞い申し上げます。

さて、私たち日本人は、このたびの大震災の経験から様々なことを学びました。

それは二つに、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

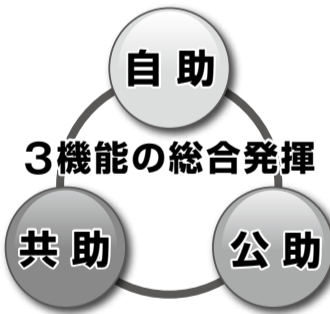
こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

こと、三つには、私たちが自然災害の前にはとても非力であること、二つには、だからこそ力を合わせて助け合う

災害への対応は、市民の「自助」を基本とし、「共助」「公助」を加えた3機能がそれぞれの機能を十分に発揮することが大切だと考えています。市民・地域・行政が総合化された力を発揮して被害を最小限にとどめ、効果的な支援活動が展開できます。



緊急時の連絡方法を決めておくことも大切です。

協力が大きな力に「共助」

自分や家族の安全が確保できたら、次は周囲の人たちと助け合う「共助」に努めてください。消火活動や物の下敷きになる

極的に災害に対する備えに取り組み、「自助・共助・公助」が大切となります。大震災以降、市では、災害時の情報網を整備するとともに、民間事業者を含めた関係団体との協力関係を強化してきました。今後は、広域的な視点に立ち、都市間の相互連携協定を進めることで、防災体制の更なる充実を図ります。

そして、被害を最小限に抑えるためには、市民一人ひとりが災害に対する意識を深め、行動することが大切となります。日頃より、ご家族やご近所の方とともに、災害への備えに取り組んでいただきたいと思います。

絶えず見直し・修正「公助」

国や県・市が行う支援活動や対応を「公助」といいます。一刻も早く安全が確保され安心して暮らせるよう、平常時から体制を整え訓練を行うて方に備えています。その活動は、救援物資の備蓄や耐震対策への助成、企業や学校との支援協定など多岐にわたり、絶えず検証を重ねて見直し・修正を行っています。

東日本大震災の経験から、情報伝達の手段として新たに「ツイッター」と「緊急速報メール」等に加え、職員参集体制も強化しています。